

2025年1月20日

関係者各位

米国 FDA の赤色 3 号廃止について

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。掲題の件についてご報告申し上げます。

敬具

記

2025年1月15日に米国 FDA は FD&C Red No.3（赤色 3 号）の認可取消を発表しました。期日は 2027 年 1 月となっており、それ以降は米国で赤色 3 号を使用した食品・医薬品・化粧品は販売できなくなります。

一部報道で発がん性を指摘する内容がございしますが、これは 1958 年に最初に制定されたデラニー条項によるものかと思えます。これは FDA が発がん性を示す食品添加物を承認することを禁止するという内容で、その検査方法は人間が絶対に摂取することがないほど超高濃度を連続的に皮下や経口摂取するという内容です。この時、ほとんどの添加物が潜在的発がん性を示したため、1982 年に添加剤自体およびそれを作るために使用された構成化学物質によって、がんを引き起こすことが示されない限り、食品添加物はデラニー条項の下で承認を拒否されないという規則を設けました。

1982 年の規則が追加されなければ添加物以外も調査対象となり、すべての食品が潜在的発がん性を示す結果になったと考えられています。

このデラニー条項の内容を知っている関係各所では、「どんなものでも過剰摂取は毒になる」と認識されており食品衛生管理者講習でも同じように習います。

ただ、赤色 3 号はヨウ素を含んでいるため、他の色素より摂取上限が低いことは間違いございません。ペットフード安全法では、ヨウ素は栄養素として必須なもの猫に過剰すると健康を損なうことが確認されています。

今後の日本の動きですが、日本の認可制度は独立しており安全性試験が何度も行われた上で認可されているため、他国が廃止しても実際に検証しその根拠が確認できなければ廃止されないと思われま

以上

紅不二化学工業株式会社

TEL 03-3969-9186

FAX 03-3969-9186

Mail color@benifuji.jp